東山梨教育協議会 No. 3

事務局

Tel: 33-2635 Fax: 33-3944

Mail: kenkyu@e103.nei

教育講演会のお知らせ

東京女子大学 准教授 **竹内 久**顕 (たけうち ひさあき) **氏**

竹内 久顕(たけうち ひさあき) 氏 プロフィール

1962年 神奈川県生まれ。

東京大学法学部・東京大学大学院教育学研究科博士過程を経て,現在,東京女子大学准教授として教壇に立っている。

専攻は平和教育, 国際理解教育, 憲法教育で, 大学・大学院での指導のほか, 日本教育学会, 日本平和学会, 日本国際理解教育学会会員などを務められている。日々平和教育の実践と, 研究の全国的ネットワークづくりを試みている。



主な著書

『平和教育を問い直す』(法律文化社)

『平和学を学ぶ人のために』(世界思想社 共著)

『予備校教師からの提言』(高文研刊) など多数。

演今、子どもたちに伝えたい平和

「戦後70年!今年は平和についてみんなで考える年」

逝いて還らぬ教え子よ 私の手は血まみれだ! 君を縊ったその綱の 端を私はもっていた しかも人の子の師の名において 嗚呼! 「お互いにだまされていた」の言訳がなんでできょう

慙愧,悔恨,懺悔を重ねても それがなんの償いになろう 逝った君はもう帰らない 今ぞ私は汚濁の手をすすぎ 涙をはらって君の墓標に誓う 「繰り返さぬぞ絶対に!」(『戦死せる教え児よ』1952 高知県 竹本源治氏)

この詩は以前にも紹介させていただきましたが、高知県の中学校教師竹本さんが1952年に詠んだ詩です。戦時中、日本の教師は教え子を戦場に送る役目を担わされていました。子どもたちに生命の尊さを教え、「死ぬな」と教え諭した教師も少なくなかったといいます。その反省に立ち、戦後の教育現場では、二度と同じ過ちを繰り返さぬよう、様々な平和教育の実践が行われてきました。しかし、戦争の語り手が少なくなっている今、平和教育のあり方や進め方、何をどのように伝えていったらいいのかなど、迷いや悩みを抱えている方も多いのではないでしょうか。

今年度の教育講演会は、東京女子大学准教授の竹内久顕先生をお招きします。竹内先生は、東京女子大学の准教授として大学や大学院での指導のほか、平和教育学研究会を自ら立ち上げ、平和教育の実践や研究の成果を全国的に広げようと、様々な方面で活躍されています。また、平和教育研究を専門にさ

れていますので、これまでの日本の平和教育はどう展開されてきたのか、また今日の平和教育の課題は何か、これからの平和教育はどのように創っていくべきなのかなど、専門的な立場でお話をお聞きすることができると思います。2学期からの実践に役立てると同時に、私たち自身が平和について考えるきっかけとなるよう、全会員の参加をよろしくお願いいたします。また、保護者・地域の皆様にも、積極的に声をかけていただき、教職員以外にも多くの方が参加していただければと考えておりますので、よろしくお願いします。

日時:8月7日(金)

受付:9:00~ 開会:9:15~

場所:花かげホール (山梨市牧丘町)

駐車場は150台程ですので、1台3名以上の乗り合わせにご協力ください。3名以上乗車の方をできるだけ会場近くへ誘導させて頂きます。